

令和 8 年度 自然を活かす上質なツーリズム 人材育成・地域づくり支援事業

研修説明会・集合研修参加者 募集要項

＊研修説明会(当日参加)申込期間

令和 8 年 9 月 11 日(金)～令和 8 年 9 月 24 日(木)まで

※11 月に開催する集合研修の参加は、令和 8 年 9 月 28 日(月)14:00～
17:00 に開催する研修説明会(オンライン)の参加が必須となります。

※参加できない場合は、後日公開する、アーカイブ動画を視聴してからご応募
ください。

＊研修説明会(アーカイブ)申込期間

令和 8 年 9 月 11 日(金)～令和 8 年 10 月 9 日(金)まで

＊集合研修申込期間

令和 8 年 9 月 28 日(月)～令和 8 年 10 月 13 日(火)正午まで

令和 8 年 9 月
環 境 省

本研修は、環境省の主催であり、請負先である公益社団法人日本環境教育フォーラム(JEEF)及び一般社団法人日本エコツーリズム協会(JES)が運営します。

1. はじめに

環境省では、2016 年から政府の「明日の日本を支える観光ビジョン」に基づき、日本の国立公園をブランド化し、国内外からの誘客を促進し、保護と利用の好循環による地域活性化を図るため、国立公園満喫プロジェクトを推進しています。

同プロジェクトの下では、「その自然には、物語がある」をブランドメッセージとして、国立公園が来訪者に約束することとして次の4点を掲げています。

1. 感動的な自然風景
2. サステナビリティへの共感
3. 自然と人々の物語を知るアクティビティ
4. 感動体験を支える施設とサービス

これらを地域関係者と連携・協働しつつ達成していくことで、国立公園が国内外から目的地として認識され、地域の交流人口・関係人口の創出並びに来訪者体験が向上することを目指しています。また、環境省では、地域の多様な資源を最大限に活用しながら、環境・社会・経済の同時解決を目指す「地域循環共生圏」の実現を第5次環境基本計画以降進めています。地域循環共生圏の考え方を踏まえつつ、国立公園地域に限らず、様々な地域において、地域の自然資源を活用しつつ関係人口・交流人口の創出を図り、もって地域活性化を図る取組を後押ししています。しかし、過疎化や少子高齢化、財源不足等の諸課題を抱える地域にとっては、担い手となる人材を独自に育成することは容易ではありません。

本業務は、エコツーリズム等を実践することで、関係人口・交流人口の創出を図り、地域づくりを牽引できる地域のコーディネーター・プロデューサーとしての人材を育成するための研修を実施するものです。

研修では、観光まちづくり、地域連携の促進、行政との協働等に関する講義・演習、グループワーク等を行うほか、研修参加者の希望に応じ講師の現地派遣等を行います。また、過年度に本研修に参加した地域関係者の一部については、行動計画の見直しや、円滑な推進に向け、アドバイザーとして研修講師を派遣する等のフォローアップも実施いたします。また、今年度は、本事業が開始してから10回目の節目となるため、これまでの参加地域と講師及び関係者の学びあい、ネットワークをより深めるため、今後の実践に資する機会を創出することを合わせて目的といたします。

本件研修の趣旨を御理解いただき、多くの地域からの御応募をお待ちしております。

2. 研修目標

本事業は、研修参加者が、①「地域の自然を活かした上質なツーリズム」の考え方を理解すること、②それぞれの地域・拠点での課題を的確に把握し、効果的な取組を行動計画に落とし込み目標を設定することを研修目標としています。

将来的には、地域の様々な関係者による連携・協働が行動計画と共に進展し、地域における環境・経済・社会の課題が同時に解決されていくような、地域社会の持続的発展を目指しています。

研修は、観光まちづくりに取組み、地域を牽引する役を担うコーディネーターやプロデューサーを目指す方を募集します。

研修の目標・期待される成果		指標
長期的成果	自然の保護と利用の好循環が実現され、地域社会が持続的に発展する。	—
中期的成果	研修を通じて作成した行動計画が進展する。 または、状況の変化に応じ改訂が行われる。	・行動計画の一部または全部に進展がみられる。 ・必要な場合、行動計画が見直される。
研修目標	①自然資源を活用した上質なツーリズムの考え方を理解し、それを実現するための鍵となる知識、視点を得る。 ②それぞれの地域での課題を的確に把握し、効果的な行動計画を作成し、目標を設定する。	研修参加者に自然資源を活用した観光地域づくり支援の考え方が理解される。 その実現に必要な「知識」「視点」が理解される。 研修参加者によりそれぞれの地域・拠点での効果的な取組の行動計画が作成される。

3. 研修対象者と全体スケジュール

(1) 研修対象者について

エコツーリズム等、自然資源を活かした観光振興及び地域づくりに取り組む意欲と意思を有する者（自治体職員、DMO、観光協会、地域おこし協力隊、ガイド、自然体験事業者、宿泊事業者、地域団体等を想定）。

具体的には以下のような意欲と意思を有する人材を想定します。

- (1) 自らの地域、地域が有する自然に愛着と誇りをもっており、これらを次世代に継承したい。
- (2) 自然・文化資源を活かし、守りながら活用することで、持続可能な地域づくりに取り組みたい。
- (3) 関係人口・交流人口創出、観光地域づくりに貢献したい。
- (4) 地域内外の関係者と協働しながら持続的に「稼げる地域」を実現したい。
- (5) 地域におけるコーディネーター・プロデューサーを目指したい。

※同一地域におけるチーム参加（2～4名程度）又は個人参加を想定。いずれも所属、業種、年齢は問わない。個人参加の場合、集合研修後の講師現地派遣までに同一地域において行動計画を実現するためのチームを編成することを条件とします。

(2) 研修説明会の開催について

研修説明会では、本事業の趣旨や集合研修の概要、応募方法等について説明するとともに、地域コーディネーター・プロデューサーに求められる役割や、自然資源を活かした観光地域づくりの考え方について学ぶ機会を提供します。

また、実際に地域で観光まちづくりに取り組む実践者による講演や事例紹介を通じて、本研修で目指す人材像や地域づくりの方向性について理解を深めていただきます。

なお、説明会への参加又はアーカイブ視聴は、集合研修への応募要件となります。

日時：令和8年9月28日（月）14:00～17:00

開催方法：オンライン（Microsoft Teams を使用）

プログラム：

時間	内容
14:00～14:10	開会挨拶、研修趣旨説明（環境省）
14:10～14:30	研修プログラムの説明（事務局）
14:30～15:30	基調講演「地域資源を活かした観光地域づくりと地域コーディネーター・プロデューサーの役割」 青田真樹氏（一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会 CFO）
15:30～15:45	休憩
15:45～16:30	ライブ講義「下呂市を知る、魅力を活かす ― 自然と文化を未来へつなぐエコツーリズム」 富永哲也氏（下呂市役所観光文化スポーツ部観光課 課長補佐）
16:30～16:45	集合研修で出会う講師の自己紹介動画（事務局）
16:45～16:50	集合研修申込にあたっての留意事項（事務局）
16:50～17:00	質疑応答（事務局）
17:00	終了

【基調講演 講師紹介】



青田真樹氏
(一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会 CFO)

大学卒業後、2000年に非営利組織に所属し、青少年育成、旅行事業、組織マネジメント業務などを担う。

2014年に退職以降、現一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会(地域DMO)を始めとして地域や住民と行政や教育機関、企業、各種団体の架け橋となる地域マネジメント活動に従事する。



富永哲也氏
(下呂市役所 観光文化スポーツ部 観光課 課長補佐)

下呂市金山町育ち。平成11年4月、金山町役場入庁後、町村合併により下呂市役所職員に。観光課は通算19年目と長く、観光統計や施設管理に始まり、広域連携、観光計画策定、エコツーリズム推進やDMO構築・伴走支援等を担当。

平成30年度、環境課へ異動して自然保護、廃棄物関連業務に携わるが、令和2年度には観光課に戻り、コロナ禍対応を担当する。ここ数年は歴まち、農泊、サステナブルツーリズム、コンテンツツーリズム関連業務に奔走中。カニが好き。

【応募にあたっての留意事項】

- 11月23日(月・祝)～25日(水)に開催する集合研修は、研修の成果として作成する行動計画を地域で協働し取り組んでいく観点から、応募にあたっては、複数の組織の関係者からなる「チーム」(2～4人程度を想定)、あるいは個人で御応募いただきます。個人での応募も可能ですが、集合研修後の講師現地派遣までに同一地域において行動計画を実現するためのチームを編成することを条件とします。
- 集合研修は、チームで参加する場合はメンバー全員が、全日程に参加できるよう、スケジュールの調整をお願いします。
- 本研修に参加後、具体的な行動計画を定め、地域の関係者と協働しつつ自走する仕組みの構築を目指す意欲のある地域を対象とします。なお、研修終了後には、取組状況や成果などについて御報告頂き、本事業の評価に御協力いただきます。
- 応募総数が募集数(12地域 40人程度)を上回った場合、選考を行う場合があります。
- 本研修の参加に当たっては、開催の趣旨をご理解いただく観点から、オンライン説明会への参加が必須です(後日公開するアーカイブ視聴でも可)。

オンライン説明会は、令和8年9月28日(月)14:00～17:00に開催します。
URLは、お申込の方に連絡します。
アーカイブ視聴の方は、後日、URLを送付します。

※研修説明会申込フォーム:

<https://forms.gle/Gudh4vBvqr93xfPJ9>



(3) 事業全体の流れについて

【令和 8 年度】

時期	事業の流れ	概要
9 月 24 日(木)	研修説明会の募集締切	アーカイブで研修説明会を視聴する場合は、10 月 9 日(金)まで募集し、12 日(月・祝)まで公開します。
9 月 28 日(月)	研修説明会の実施	集合研修への参加希望者に対して研修説明会を実施いたします。
10 月 13 日(火)	集合研修の募集締切	応募書類に記載の内容を踏まえ、本事業での支援が効果的か、継続性、具体性、連携性、発展性、将来性などの観点により審査・選定を行います。集合研修への応募締切は、10 月 13 日(火)正午です。10 月下旬までに選考結果をご連絡します。
11 月中旬	事前自己研修	事務局から事前送付する教材(動画やテキスト等)をもとに、自己研修を行います。
11 月 23 日 (月・祝)～ 11 月 25 日(水)	集合研修 (岐阜県下呂市)	集合研修では、講義やワークショップを通して、研修成果としての行動計画づくりを行います。
12 月中旬	行動計画のレポート提出・発表 (オンライン開催)	地域ごとに作成した行動計画を発表し、研修講師や参加地域からフィードバックを得ます。発表は集合研修終了後概ね 2 週間後を目途に実施いたします。
12 月～2 月	講師現地派遣	研修講師の派遣を希望される地域を対象に実施いたします。地域資源の発掘、地域が協働するための協議会や体制の構築・強化、事業提案(プログラム作り)等の具体的な取組につながるよう、地域の事情に応じた指導・助言を行います。
2 月	10 周年記念フォーラム(仮)(任意)	過年度集合研修参加地域及びこれからエコツーリズムに取り組む自治体や地域団体、DMO、学生・ユース世代等に向けて、ハイブリッドでイベントを実施します。

4. 集合研修の参加にかかる経費等

(1) 研修参加費用

集合研修以外の研修受講費用は無料です。

なお、集合研修(11月23日(月・祝)～25日(水)岐阜県下呂市にて実施)の参加に当たり、集合場所までの往復交通費及びその他の実費(宿泊費・食費等)については、研修参加者で御負担いただきます。

宿泊先は事務局では斡旋いたしませんので、参加者各自で御手配ください。

(2) 集合研修日時・会場

日 時：令和8年 11 月 23 日(月・祝)～25 日(水)

会 場：下呂温泉 水明館(岐阜県下呂市幸田 1268)

<https://www.suimeikan.co.jp/>

JR高山本線 下呂駅 徒歩 5 分

集 合：下呂温泉 水明館 2階 緑風の間

11 月 23 日(月・祝)13:00 集合

解 散：11 月 25 日(水)13:00 解散

※ 詳細は、集合研修参加者に後日お知らせします。

※ 現地周辺情報については下呂温泉観光協会のサイト等を参照ください。

下呂温泉観光協会ホームページ：<https://www.gero-spa.com/>

5. 研修講師及びカリキュラム一覧

(1) 研修講師(予定)(50音順)

氏名	所属	活動・主な専門分野	具体的な得意分野
江崎 貴久	(有)オズ代表 取締役 海島遊民くらぶ	エコツーリズム、インター プリテーション、環境教育	地域資源の活用、地域連携、 人材育成など
大堀 健司	エコツアーふくみ み代表	エコツーリズム、インター プリテーション、環境教育	地域資源の活用、地域連携、 人材育成など
海津 ゆりえ	文教大学国際学 部教授	エコツーリズム、インター プリテーション	地域におけるエコツーリズム
金子 森	Explore Hakone 代表	エコツーリズム、ガイド事 業運営	地域資源の活用、地域連携、イ ンバウンド対応など
田島 幸郎	岐阜県中部山岳 国立公園活性化 推進協議会 顧 問	エコツーリズム、人材育成	企業経営を通じた地域の組織 づくり、地域経営のための人材 育成、エコツーリズムによる地 域未来のつくり方
鳥屋尾 健	(公財)キープ協 会環境教育事業 部 事業部長	インタープリテーション関 連	特に施設運営、展示、地域連 携、人材育成、団体客対応など
西村 仁志	環境共育事務所 カラーズ 代表	インタープリテーション関 連	特に地域連携、人材育成、社 会企業(ソーシャル・ビジネス) など。
府川 尚弘	INDIGO(合)代 表	インバウンド推進/地域 連携/ディスティネーショ ン・マーケティング	DMO を中心としたマーケティ ング機能、海外プロモーション や地域連携による取組み効果 の向上
松田 光輝	(株)知床ネイチャ ーオフィス 代表 取締役	ガイディング/ガイド事 業運営/地域協議体等 組織	環境保全と利活用にかかる協 議体の組織化と運営/ガイド 事業における経営・運営・商品 開発・ガイド技術等全般のアド バイス
松本 毅	YNAC クラシック ガイドスタッフ	ガイド事業経営/地域 協議体等組織	エコツーリズムガイドの技術と 担い手育成、ガイド事業運営、 ガイドの組織化、ガイド認定制 度の立ち上げ
水谷 初子	(一社)日本サス テナブルツーリズ ムイニシアティブ 主席研究員	エコツーリズム	エコツーリズム全般、観光産 業、持続可能な地域づくり、経 営マネジメント
山崎 宏	(特非)ホールア ース自然学校 代表 理事	インタープリテーション関 連	特に施設運営、地域連携、人 材育成、団体客対応など。

(2) 岐阜県下呂市から参加される研修講師

氏名	所属	活動	具体的な活動
瀧 康洋	(一社)下呂温泉観光協会会長／ 下呂温泉水明館 代表取締役社長	地域協議体等組織運営	下呂市の観光まちづくり推進の中心的な役割を果たし、現在も推進役を担う。最近ではデータを活用した観光まちづくりに邁進。
岡戸 孝明	金山町観光協会 所属	ガイド事業	下呂市金山町の裏路地巡りを資源とした「筋骨めぐり」のガイド。金山町の文化・歴史に詳しい。
富永 哲也	下呂市役所 観光 文化スポーツ部 観光課 課長補佐	行政	下呂市のエコツーリズム等、観光行政を長年担う。

(3) カリキュラム(予定)

【事前学習】(視聴は**必修**)全体で3時間程度。

講義名	担当
講師の自己紹介	各講師(オンライン説明会と同じ動画です)
日本におけるエコツーリズム	海津 ゆりえ(文教大学教授／日本エコツーリズム協会運営役員)
地域の宝探しとストーリーづくり	海津 ゆりえ(文教大学教授／日本エコツーリズム協会運営役員)
インタープリテーションって何だろう?～その魅力と活用方法～	古瀬 浩史:帝京科学大学教授／日本インタープリテーション協会代表理事、川嶋直:川嶋直事務所代表／日本環境教育フォーラム主席研究員
観光 SX とは?	山下 真輝((株)JTB 総合研究所)

【集合研修】

11月23日(月・祝)～25日(水)、岐阜県下呂市にて実施します。

●1日目(11月23日(月・祝))

プログラム	内容
【講義】 人材育成推進施策	国の施策について
【基調講演】 下呂市のエコツーリズム全体構想	エコツーリズム全体構想を使った 下呂温泉の街づくり ～下呂温泉の事例～
【講義】温泉資源の保全と活用	・温泉資源の保全 ・効率的な管理 ・現地視察 など
【講義】 エコツーリズムによる地域づくり	・E-DMO とエコツーリズム ・全体構想認定までのプロセス ・宝探し・筋骨を活用したツアーづくり
【講義】 行動計画の作成方法	行動計画づくりの検討に役立つワンポイントアドバイス
【分科会①・選択形式】 他地域事例から学ぶ	「持続可能な自然資源を活かす地域・ルールづくり」や「行政・DMO・地域事業者との連携」、 「自然資源を活かした新規事業づくり」などの テーマを予定。

●2日目(11月24日(火))

プログラム	内容
エコツアー体験	・筋骨ガイドツアー ・宝探しワークショップから生まれた体験プログラム ・下呂の街並みなど
【分科会②・選択形式】 他地域事例から学ぶ	分科会①と同じ形式で実施。

●3日目(11月25日(水))

プログラム	内容
行動計画づくり	個人で考える時間、グループへの共有、講師からの振り返りを予定

【事前又は事後学習】(視聴は任意)全体で3時間程度(予定)。

講義名	担当
聞く技術とまとめる技術	青木将幸(青木将幸ファシリテーター事務所)
インバウンドを取り入れた地域づくり	古屋絢子(通訳案内士/観光ラボ)
インタープリテーション全体計画を取り入れた地域の巻き込み	雲仙観光局の担当者

※募集開始時点での予定につき講師・講義タイトルは変更となる場合があります。

6. 応募方法について

(1) 研修説明会(アーカイブ含む)の応募について

環境省ホームページに掲載の応募フォームからご応募下さい。

※本紙 3 ページに記載の URL からでもご応募いただけます。

オンライン説明会は、個人の参加で構いません。

URL : <https://forms.gle/Gudh4vBvqr93xfPJ9>

(2) 集合研修(岐阜県下呂市開催)の応募について

- ① 集合研修の参加申込については、環境省ホームページより応募フォームをダウンロードし、必要事項を記入の上、下記の応募先・問合せに記載の担当者宛に電子メールで提出してください。

チームで応募の際は、構成員で話し合いの上、記載願います。

チームで応募する際の構成員は、観光協会、DMO、行政職員や地域おこし協力隊、地域のガイドやインタープリター、エコツアー事業者、施設管理者等、集合研修後に、一緒に地域を盛り上げていくことを考えている方を加えてください。

- ② 提出された応募書類は本事業に関する目的以外には使用しません。お預かりした個人情報、 「環境省所管事業分野における個人情報の保護に関するガイドライン」に従い管理します。

なお、応募書類は返却しません。

- ③ 応募書類は日本語で記入してください。なお、応募フォームの様式は変更せずに記入してください(記載内容に応じて、枠を広げることは可とします)。

(3) 各種締切

研修説明会の応募締切：令和 8 年 9 月 24 日(木)まで

アーカイブの研修説明会の応募締切：令和 8 年 10 月 9 日(金)まで

集合研修(岐阜県下呂市開催)参加の応募締切：令和 8 年 10 月 13 日(火)正午まで

(4) 応募にあたっての留意点

- 応募に当たっては、所管の自治体の観光振興課ないし地域振興課、必要に応じ自然環境課等へ御一報いただくことをご検討ください。
- 本事業は環境省主催です。応募する地域が国立公園内又は隣接する場合は、今後の情報共有、連携の可能性を広げるため、その国立公園を所管する環境省の出先機関(地方環境局、自然環境事務所、国立公園管理事務所、自然保護官事務所等)にも、事前に御一報いただくことをご検討ください。

【応募先・問合せ】

■公益社団法人日本環境教育フォーラム
(〒116-0032 東京都荒川区西日暮里5-38-5 日能研ビル1F)
電話:03-5834-2897 ホームページ:<http://www.jeef.or.jp>
担当者:高橋／原田

■一般社団法人日本エコツーリズム協会
(〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-24-9 アイケイビル 3F)
電話:03-5437-3080 ホームページ:<https://ecotourism.gr.jp>
担当者:赤間

連絡先メールアドレス: mankitsu@jeef.or.jp

【環境省担当】

環境省 自然環境局 国立公園課 国立公園利用推進室
電話:03-5521-8271(直通)
担当者:大谷

よくある質問

Q：主な活動フィールドが国立公園ではないのですが応募は可能でしょうか？地域ではエコツーリズムとは銘打ってなく、例えばグリーン・ツーリズムやアドベンチャートラベルに取り組んでいるのですが、応募は可能でしょうか？

A：いずれも可能です。自然資源（里地・里山などの自然を含む）を活用した地域振興、観光振興を目指す地域であれば、どこでも対象となります。

Q：募集対象となる「地域」とは、どのような範囲でしょうか？

A：「県境を越えた自然公園全体」～「ひとつの集落」まで、「地域」と呼べる単位とします。

例 「日高山脈襟裳十勝国立公園」地域、「新ひだか町静内」地域、など。

Q：過去に参加したことがあります、もう一度応募してもいいですか？

A：多くの方々に参加いただきたい趣旨から、基本的に初めて参加される方を対象とさせていただきます。

Q：自治体の観光課の職員です。チームで参加したいガイド等が10名ほどいるのですが参加可能でしょうか？

A：会場の都合及び公平性の観点から、原則としてスタッフ・事業者側の方＋サポート側の方＝合計2～4名のチーム、もしくは代表者個人で応募してください。

Q：一部日程に参加できないメンバーがいますが、応募可能ですか？

A：11月23日（月・祝）～25日（水）に開催する集合研修は、全員参加を要件としています。